

子育て支援定住促進住宅整備及び富河地区ランプエリア構想に対するご意見への回答

追加 令和7年8月27日現在

子育て支援定住促進住宅整備について

- ・人口増も勿論であります、少子化の改善が主たる事業と考えています。
- ・「教育無償化」等の施策については、「総合計画」に則って、今後担当課にて検討していくものと考えています。
- ・20世帯分の住宅建設では、物価高騰による資材費の高騰等を考慮しても、10億かかるとは想定していません。本事業のために「そのくらいの余力を蓄えてある」という意味でご理解ください。
- ・今回の住宅整備に関しては、鉄筋コンは考えていません。40年先にはまた解体費用の問題が発生しますので、少しでも安価に抑えられるものを考えています。
- ・町の古民家を含む空き家対策では、空き家バンクに登録していただいた物件については、すでに片付け費用やリフォームの補助事業を実施しております。
- ・お年寄りへの支援については、担当課において別の支援策として今後も引き続き充実が図られるものと思います。

子育て支援定住促進住宅整備場所について

- ・旧図書館、林業センターについては、本年度調査を実施しましたので来年度以降、解体の方向で進んでいくと思います。残地については、まだ詳細は決まってはいませんが、「急傾斜地の特別警戒区域」にも指定されていますので、それを踏まえて検討していくものと思います。
- ・旧富河中学校校舎は、すでに「総合センター」として利活用改修が終了し、供用開始しておりますので、住宅への再改修は考えておりません。
- ・「休耕田」の活用についてですが、農林業振興の面から考えますと、平らで大規模な営農が可能な農地については、別の意味で不測の事態に対応できる貴重な資源と考えます。
- ・駐車場については、総合センター駐車場を整備済みですので、対応可能と考えます。また、災害ごみとなりますと、状況によっての対応となりますが、富沢野球場やリバーサイドパーク等のほうが適地かと考えます。
- ・「仮 三世代交流広場」においても、ある程度の仮設住宅整備は可能であると考えています。また、あらかじめ防災対策を講じておくことで、速やかに避難場所を整えることができると考えています。
- ・小学校は2校になることが決定していますが、町として最低でも中学1校と南部地区、富沢地区へ1校ずつの小学校を今後も維持していきたいと考えています。
- ・子供が高校生になる時期になれば、賃貸住宅は手狭にも感じる可能性が予測されます。したがってその段階で住宅購入を考えるのも一つの方法かもしれませんし、「ランプ」の意図するところでもあります。
- ・空き家や県営住宅空き室については、何度か説明させていただいていますので、公表され

ている資料にてご確認ください。

南部町富河地区ランプエリア構想について

・子育て支援住宅の整備を中心に、立地条件の良い本エリアをさらに充実していく構想となっています。南部地区の防災拠点はもちろんアルカディア南部総合公園であり、栄地区には分庁舎に立体駐車場を整備し防災拠点化を目指しています。

・「維持費」とは住宅の維持管理費と考えますが、集合住宅は他の「箱もの」とは違って家賃収入があります。入居率等でその収入には差が生じますが、ある程度は修繕費や建設費への補填に充てられると考えます。

・耐震性等を考えれば、空き家を利用するよりも格段に安全な建物といえます。

・新聞記事等でも決定ではなく検討ですし、議論のたたき台をお示ししています。

・子育て世代を増やしていくことは、今住んでいる人たち（住民）の為にもなることだとうご理解いただきたいと思います。